

ICTの可能性探る

大船渡東

生徒対象にキャリア教室

陸前高田市の一般社団法人SAVE T A

KATA (佐々木信明代表理事)は4日、県立大船渡東高校(角館覚校長)で、情報処理科2年23人を対象にICT(情報通信技術)のキャリア教室を開いた。生徒たちはワークショップを通し、身近な問題に活用できるICTの可能性について考えを深めた。

教室は若い世代へのICTの普及や、気仙地方でICTを使ったビジネスの可能性を広げることなどが目的。

平成25年から毎年企画している。

今回は6月の開催に続き年度内2回目。同法人の齊藤健祐さんら関係者が講師を務めた。

この日は、自分の身近なことで改善が求められる物事を題材にしたワークショップを実施。「ワークショップを良くなるアイデア」「高校を良くするアイデア」などテーマごとに四つの班に分かれ、全員で問題と思うことを自由に発表した。

.....
身近な環境で問題になっていることについて語り合う生徒たち。大船渡東高校



多くの課題を浮き彫りにしたあとは、ICTで解決できるような内容をピックアップ。ホームページや市販の

電子媒体を用いた遠隔操作技術の活用など、齊藤さんらの知恵を借りながら問題解決の糸口を探っていた。